

ニホンザルの管理の基本

-群れ管理と地域主体の被害対策-

兵庫県立大学 教授

山 端 直 人

1

自己紹介

農林水産省⇒三重県庁⇒現職

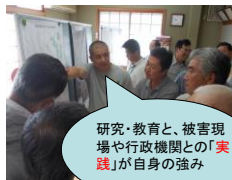
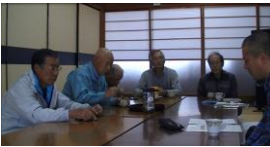
山端 直人 兵庫県大
／兵庫県森林動物研究センター

専門:「農村計画」「アクションリサーチ」
「野生動物の被害管理」

～社会調査、集落づくり、被害防除、
捕獲、政策提案まで～

2

集落や地域で獣害の改善方法を「提案」し「課題解決」を図る実践
～年間で20集落、累計約300の集落で実践～



研究・教育と、被害現場や行政機関との「実践」が自身の強み

集落の合意形成理論(ご要望あれば要請ください)

6

研究活動の目的

■ 獣害を解決できる社会(集落や地域)とは、どのようなものか

⇒たぶん、これからの縮小社会の農業農村をはじめとする種々の地域社会課題解決に役立つ

8

はじめに

■ 一番最初に、「県の」担当者だったとき
「何から始めたら良いか」自体が判らなかつた

■ 三重で研究所の職員として獣害対策、なかでもサル対策に従事

■ 試行錯誤で10年近く。実証地の伊賀市では被害は95%減。ほとんど被害の報告はない。

⇒今なら5年でできると思う

11



三重県農業研究所

数年前のサル群や集落の様子。現在、この問題はほぼ解決しています。「解決できる課題なんです」

30

(被害対策に役立つ)
サルの生態

54

サルってどんな生き物??

うちわけ
群れ

母系社会

ハナレ

56

「エサ場」を求めて移動している
→「エサ場」と認識しない場所には来ない

58

「エサ場」 ⇔ 加害獣に好まれる場所

- 1 採食可能な場所
 - 2 安全な場所
- 双方の条件を満たすと獣害は発生する

獣害対策の中の「被害管理」とは、この2つの条件を満たさない場所にしていくこと

→ それと同時に、「生息地管理」と「個体数管理」を実施していく

59

ニホンザル管理の基本的な考え方

●地域主体の被害対策

↑↓ 両輪で進める。
課題はそれを「誰が・どう」担うか

●群れを単位とした頭数等の管理

- ・多頭群の頭数削減
- ・空間的に行き場のない群れの除去
- ・悪質個体の除去

60

効果を示す
社会実験的研究

61

サル被害の要因

64

①人が被害と思わない「エサ」がある



66

②「正しく」囲えていない



87

③隠れ場がある



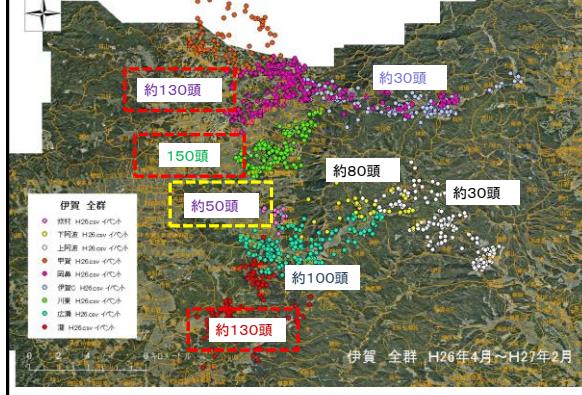
93

④正しく追い払いできてない



99

⑤被害対策が難しい群れもある



104

サル対策の5箇条

予防

1

集落内の収穫残さや不要果樹など「エサ場」をなくす

2

耕作放棄地や藪などの隠れ場所をなくす

治療

3

困える畑はネットや柵のできる限り囲う

4

人里は怖いと覚えさせるため、獣を見たら必ず追い払う

集落のエサ場価値を下げる

手術

5

群れ単位に頭数をコントロールする

105

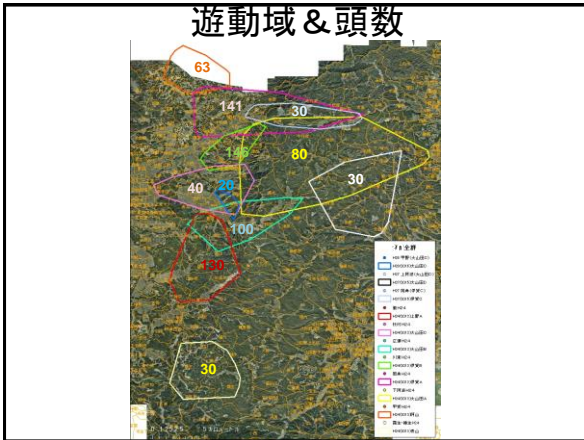
ニホンザル管理の基本的な考え方

- 地域主体の被害対策

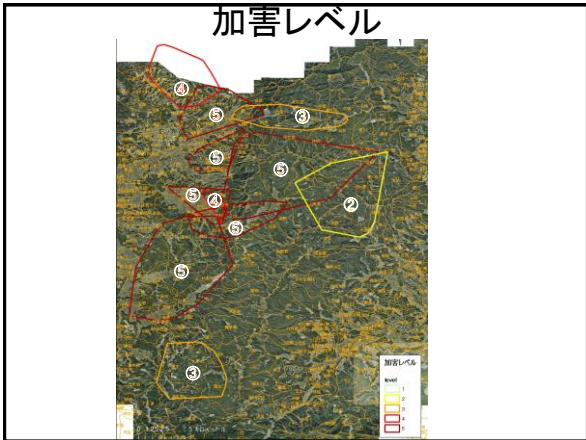
両輪を進める。
課題はそれを「誰が・どう」担うか

- 群れを単位とした頭数等の管理
 - ・多頭群の頭数削減
 - ・空間的に行き場のない群れの除去
 - ・悪質個体の除去

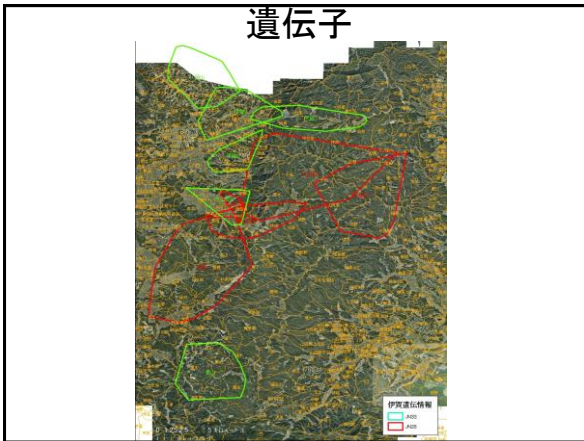
114



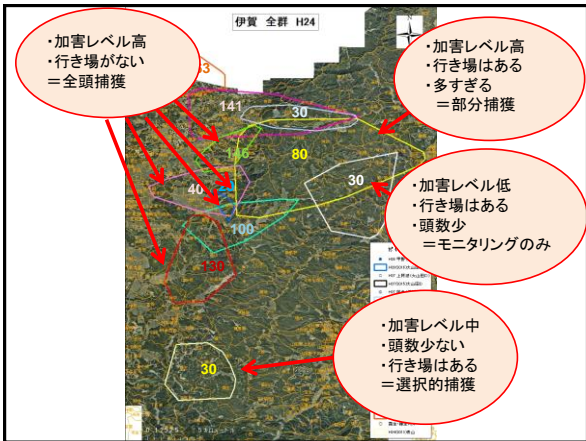
115



116

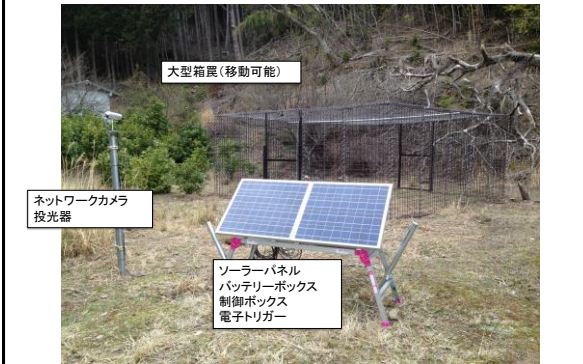


117



121

移動可能な大型箱罠+遠隔監視・操作機器 (まるみえホカク)



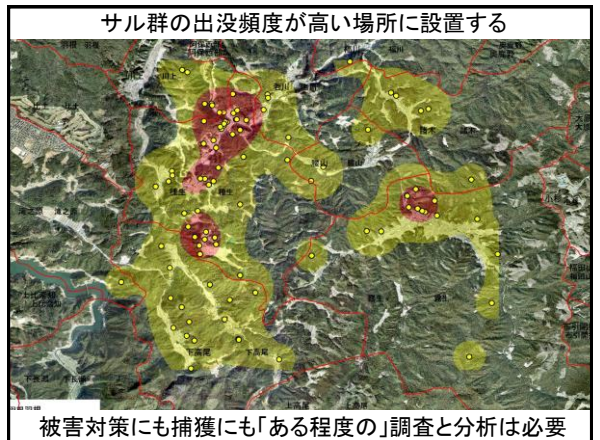
124



131



135



170

大型檻管理の注意点

①最初は「見える」場所にもエサを置き

②多量のエサを檻内に。全頭が十分食べるまで確実に餌付け

注意:シカの場合

- エサは2日に1度は追加する
- 2日で食べきれない程度の量を様子を見ながら追加する(一度に大量に置かない)

注意:サルの場合

- エサは定期的に変更
- エサが多い方がたくさんサルが入る
- 目立つ野菜や穀物(大豆)を組み合わせる
- 日持ちが良い野菜や穀物(芋類、豆類、カボチャなど)
- 持って出られない大豆は捕獲に良い


171

- エサは(シカやイノシシと少し異なる)大量に、新鮮なものを
- 徹底して餌付けする(全部が入って檻を完全に覚えるまで捕らない)⇒**捕獲判断を適切に**できてるか?
- サルに「見つけてもらえる」エサと「檻内で食べるエサ」の2段階
- 周辺に魅力的な農地とかがないか?
- 周辺住民へのケアは大丈夫?**
- 捕る→処分→再度捕る(獲れる時は複数回捕る)
- 止め差しは銃は使わない(電気が良い)


終了後のワークショップで

172


処理時の注意




＝




銃




使用せずに済むならその方がいい




電気ショックカー







＝




銃



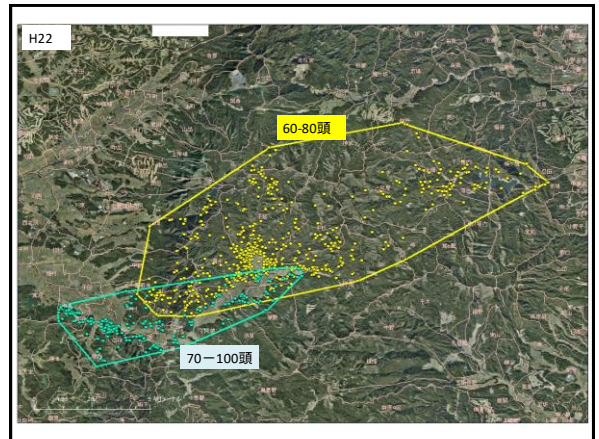


電気ショックカー

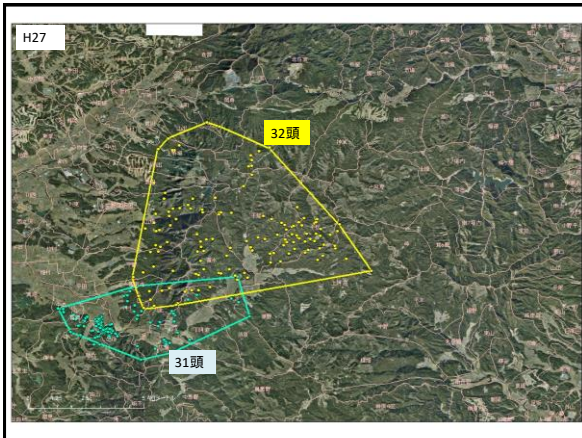


●未捕獲の個体に学習させないようにサルは銃器を使用しない。
●小型檻やポケットネットを組み合わせると処理が効率化できる

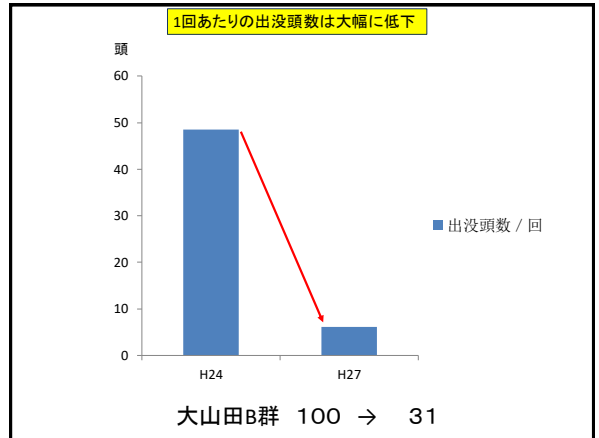
173



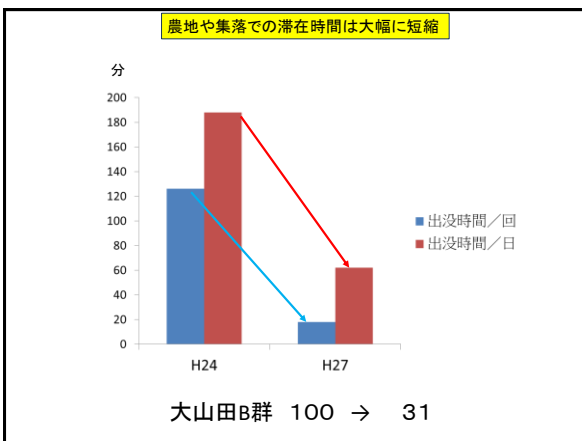
183



184



185



186

「群れの頭数管理と同時に
集落主体で被害対策を」

呼びかけ易くなるチャンスでもある

188

ニホンザル管理の基本的な考え方

●地域主体の被害対策



両輪で進める。
課題はそれを「誰が・どう」担うか

●群れを単位とした頭数等の管理

- ・多頭群の頭数削減
- ・空間的に行き場のない群れの除去
- ・悪質個体の除去

189

効果的に追い払う

■効果のある追い払いについて

組織的な追い払いによる
サルの被害軽減

～伊賀市下阿波集落～

190

追い払いの研修会

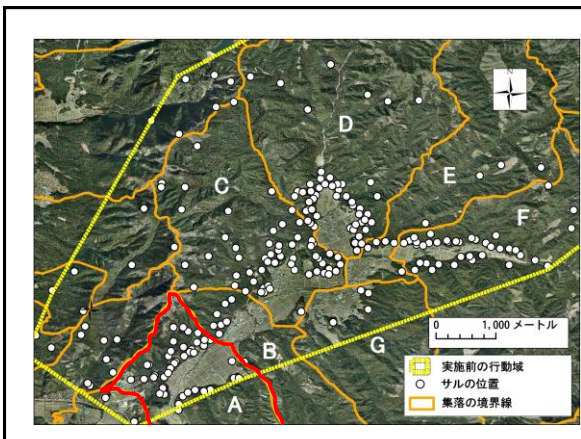


197

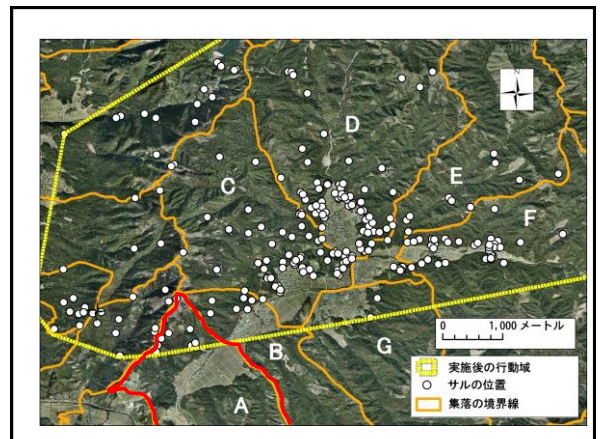
効果が出た追い払いの行動様式



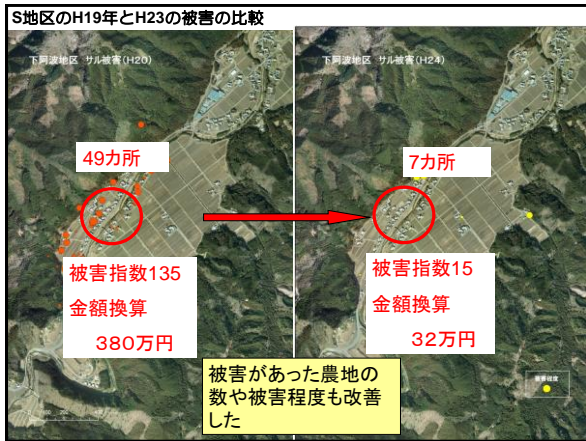
199



203



204



207



208



224

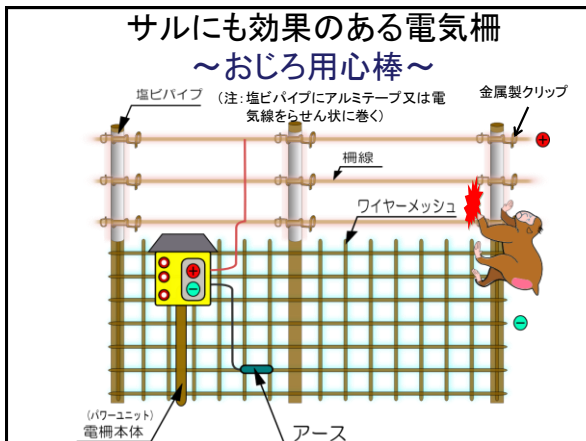
「組織的な追い払い」の考え方

集落を1つの農地と意識し

1. サルを見たときは必ず
2. 集落の誰もが
3. サルが侵入した場所に集まって、複数で
4. サルが集落から出るまで(時には山の中まで)
5. 花火、パチンコ等、サルに向かって飛ぶ威嚇資材を複数使って

追い払う！！

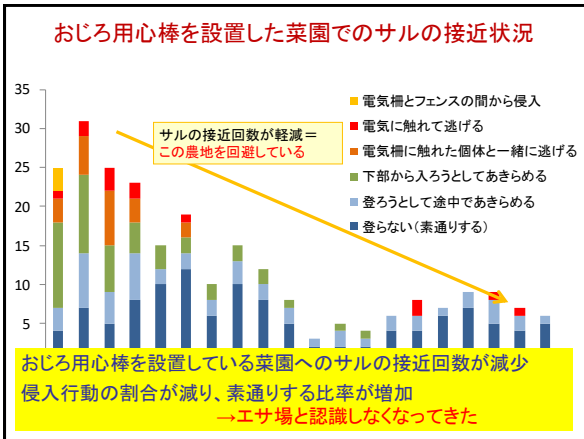
229



232



233



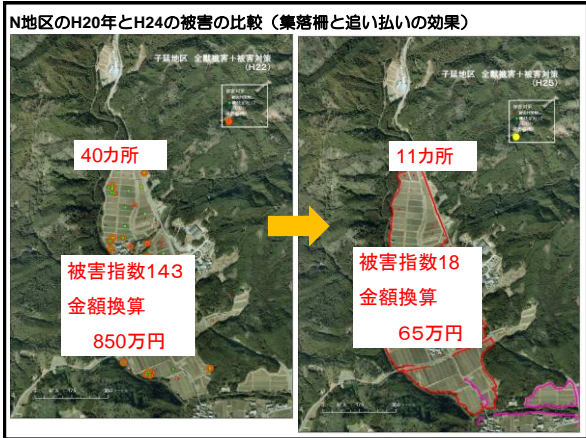
235



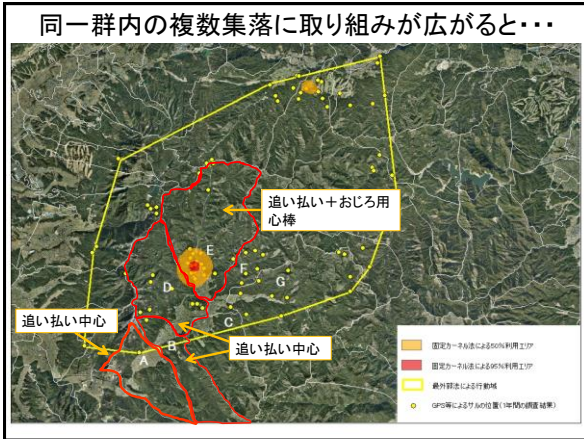
250



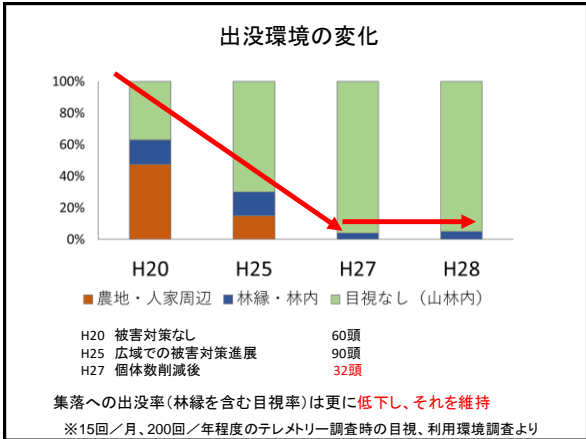
251



252



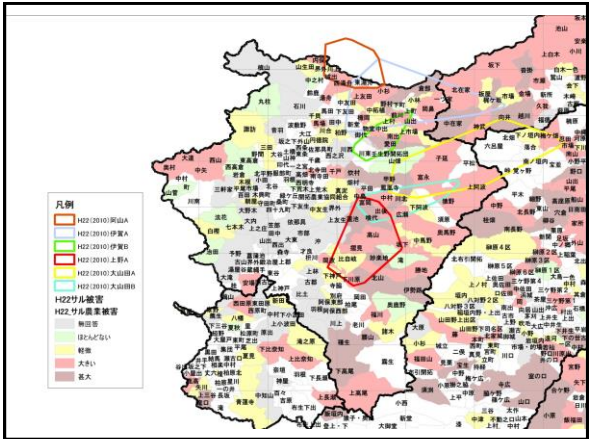
260



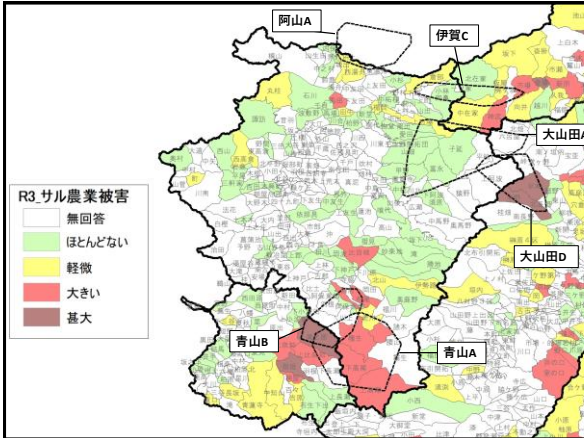
269

⑤地域の被害の変化

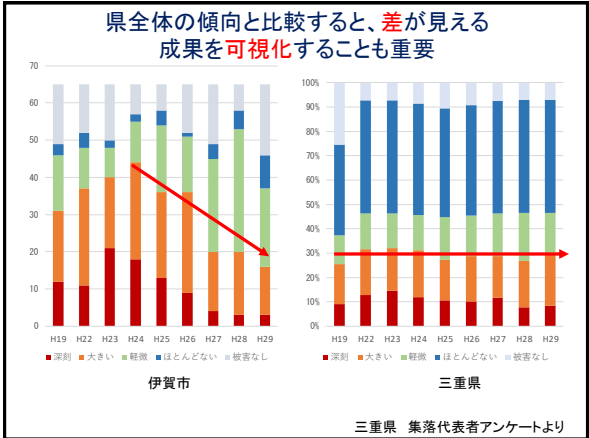
270



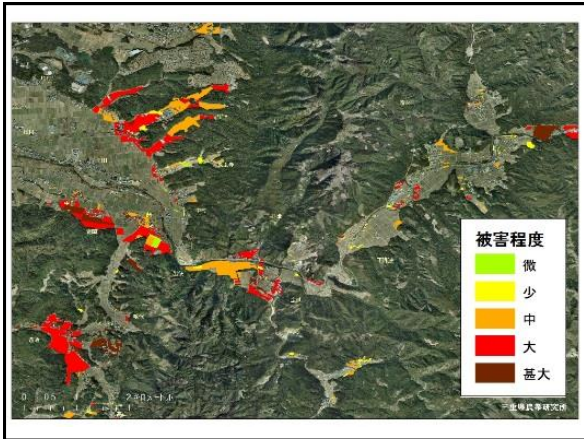
271



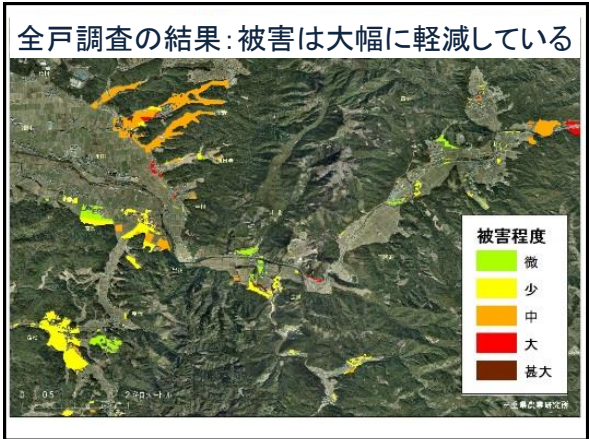
280



283



284



285



柿が採れるようになった

■柿や栗が**採れるようになった**
 ■個体数調整と被害対策の結果山で暮らすようになった→感情的でない、**冷静な意見**の増加

291



柿はほとんどが残っている

293

深層インタビューによる集落の意見変化(2019山端)

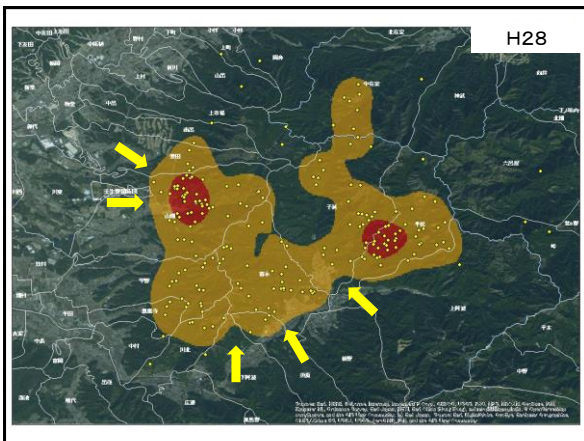
群れ単位の個体数管理+地域主体の被害対策 **双方両立集落**

	H20	H27
サルの出没は？	<ul style="list-style-type: none"> ●サルの銀座や。毎日でも見るで！ ●追ってもそこで見とるんや。全然逃げよらへん。 	<ul style="list-style-type: none"> ●山行っても声は聞くけど、姿は全然。 ●捕獲後は全然来なくなりましたな。
被害は？	<ul style="list-style-type: none"> ■全部食べよらん。明日採ろうと思っとると、よお見とるな。全部かじってく。 ■瓦割くやろ。あれ。糞がなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ダントツ減ったわ。うち。 ■田んぼもやられたけど、今は全然やな。 ■顔見ると逃げるもんな。
サルをどう思う？	<ul style="list-style-type: none"> ●追い払いなんか言うどらんと、市も県も、もう少し根本的のちゅうもんを考えてくれたらどうです？ ●増えやんように出来やんの？薬とか撒いてさあ。 ●幽あ向いてきますやろ。あれ。追おても怖いすわな。追えやんわなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> ●まだまだ恨みはあるけどなあ ●悪せんかったら、まあ、かわいいもんやけどなあ ●孫の手前なあ。おじいさんら全部獲るんやとは言えやんわなあ。 ●わしらも鬼とちゃうでなあ。これ以上は獲らんでもなあ。

295

被害対策を持続しないと、**また群れも悪化する**

310



313

地域の力(自助と共助)は**重要**

315



住民自治協議会による「サル見回り隊」

316



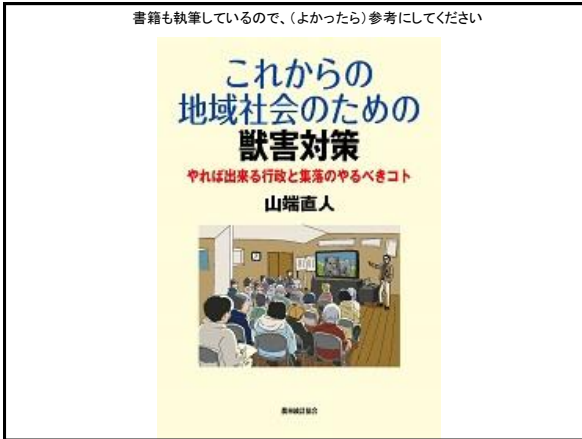
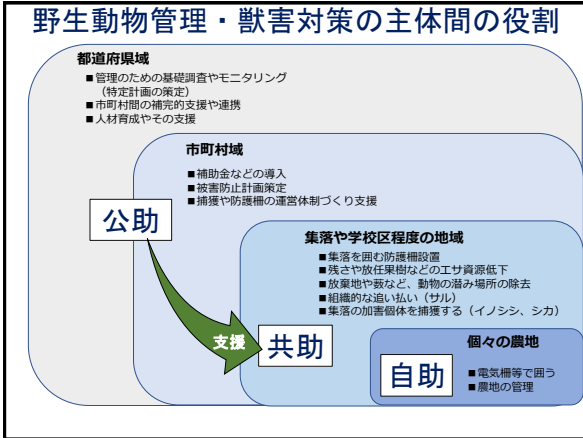
効果を維持し課題は改善していく

住民組織内で、「追い払いチームを作りましょう」と呼びかけている様子

319

それを促す、支援するのが**公助**(我々の仕事)

328



書籍も執筆しているので、(よかったら)参考にしてください

475



ニホンザルの管理方法や人材育成のための社団法人もあります

477